

# 日本子ども虐待防止学会



JaSPCAN in  
SHINSHU 2013  
日本子ども虐待防止学会 信州大会

## 第19回学術集会信州大会

～テーマ～

### 「One Child, One Life」

～安心して生きる、育つ～



会 期

2013年12月13日(金)・14日(土)

場 所

まつもと市民芸術館主ホール  
信州大学松本キャンパス

大 会 長

小池 健一(信州大学医学部小児医学講座 教授)

主 催

日本子ども虐待防止学会  
日本子ども虐待防止学会第19回学術集会信州大会実行委員会

お問い合わせ

日本子ども虐待防止学会  
第19回学術集会信州大会 事務局  
〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号 信州大学医学部小児医学講座内  
TEL:0263-37-2642 FAX:0263-37-3089  
Mail:JaSPCAN2013@mamorukai-matsumoto.info

このたび、日本子ども虐待防止学会第19回学術集会を長野県が担当することになりました。

今日のわが国は様々な分野で閉塞感に覆われています。そのひとつが子どもの虐待で、その報道には目を覆いたくなります。核家族化が進行し、経済不況が長期化している現在、子育ての負担感や生活上の不安などが一層強まっており、子どもの虐待の高リスク状況は続くものと考えざるをえません。

信州大会では「One Child、One Life ～安心して生きる、育つ～」をテーマとして、松本市で2013年12月13日・14日の両日に開催すべく準備を進めています。全国の子どもの虐待防止に取り組んでおられる様々な職種の方々に各地の課題や活動成果についてご発表いただき、有益な情報交換の場になればと考えています。

長野県では、1997年に長野市に一般市民や専門家が集まって「ながの子どもを虐待から守る会」が発足し、粘り強く着実な活動を開始しました。その波は松本、諏訪や南信地域に広がりました。2010年に長野県と「長野県子どもを虐待から守る民間ネットワーク」とが協定書を締結し、官・民/多職種が連携、共働して子どもの虐待問題に取り組んできました。2011年度の長野県内の児童相談所に寄せられた児童虐待の相談件数は数年前の1.5倍に増加しています。この大会を契機に県内のあらゆる地域において子どもの虐待の発生予防や早期発見・早期対応に繋がればと願っています。

自然豊かな上高地、美ヶ原、安曇野などに囲まれた松本市にお集りいただき、皆様の日頃の活動を互いにねぎらっていただくとともに、これからの子どもの虐待防止活動に役立たせていただきたいと思えます。実行委員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

小池 健一(信州大学医学部小児医学講座 教授)

## 信州大会シンポジウム

2013年12月13日(金) 10:00～12:30

### 「子どもの虐待死を着実に減らす戦略～官民で考える目標の設定と具体的行動～」

司会 **鷲澤 一彦氏** シンポジスト **佐藤 拓代氏** (大阪府立母子保健総合医療センター 企画調査部)  
(わしざわ小児科)

**磯谷 文明氏** (くれたけ法律事務所 弁護士)

**厚生労働省** (雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室長)

**長野県中央児童相談所長**

指定討論者 **奥山真紀子氏** (独立行政法人国立成育医療研究センター こころの診療部)

## 特別講演

2013年12月13日(金) 14:00～15:00

### 「いま、いのちから…」

### 虐待を受けている子どもに明日まで待て、とはいえない」

作家・東京家政大学人間文化研究所特任教授

講師 **落合 恵子氏**



## 国際プログラム

2013年12月13日(金) 16:00～18:00

### 「原発事故、震災、戦禍の中で生き抜く子どもたち～極限下での子どもの権利について考える～」

オムニバス講演:共通テーマ

「極限状態の下で、子どもの権利 —いのち、生活、こころ—を守るための支援活動について」

第1部 チェルノブイリの医療支援

**菅谷 昭氏** (松本市長・医師)

第2部 東日本大震災における子どもの心のケア

**菊地 祐子氏** (東京都立小児医療センター・児童精神科医師)

第3部 小児科医から見たイラクの現状

**Lika'a Fasih Y.Al-Kzayer氏**  
(医学博士・イラク小児腫瘍科医師)